

新基地建設反対名護共同センターニュース

辺野古着工5年 反対協が海上で抗議集会



民意無視、知事不承認の工事中止を！

沖縄防衛局が2017年4月25日、辺野古新基地建設の着工を強行してから5年が経過しました。へり基地反対協議会の海上チームは25日、抗議船など8隻、カヌー36艇を繰り出し大浦湾のK9護岸付近で抗議集会を開きました。

同反対協の仲村善幸共同代表と「オール沖縄会議」の福元勇司事務局長が、「県民投票で示された民意を無視し、デニー知事的设计変更を不承認とした違法工事を強行することは許されない。直ちに中止せよ」と訴えました。カヌーチームのメンバーが「美ら海を破壊し、戦争のための基地建設は許せない」などとリレートーク。最後に辺野古新基地建設着工から5年に向けた「声明」を読み上げ、抗議のシュプレヒコールを上げました。

抗議船に乗った沖教組の女性は「初めて海上から現場を見ました。山と積んだ赤土をどんどん海に投げ込み環境破壊をしていることにショックを受けました。民意をじゅうりんするこの現場を多くの人が見るべきですね」と話していました。

沖縄市長選 森山氏及ばず

24日投開票で行われた沖縄市長選挙で「オール沖縄」の森山政和氏は19,649票を獲得し善戦したものの現職の桑江朝千代氏の29,738票に及びませんでした。「オール沖縄」陣営は7月の参院選と9月の天王山の知事選に向けて捲土重来が期待されます。

市民自治を取り戻す学習会 名護市の住民訴訟巡り

学習会・なぜ設計変更不承認なのか

主催 辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議

日時 5月7日(土)14時~16時半
13時半より受付(先着順)

会場 県立博物館・美術館 講堂 + YOUTUBEオンライン配信
<https://www.youtube.com/channel/UC9HIEUogtqQs2ShOckT27w>

※新型コロナウイルスの感染状況により変更することがあります。事前にオール沖縄会議のHPでご確認下さい。
※オンライン配信不備が生じた場合は、後日、上記のYOUTUBEから発信いたします。予めご了承ください。

11月25日、玉城デニー知事は軟弱地盤の設計変更を、法に照らして不承認としました。全体の完成見通しが立たなくなったのに、沖縄防衛局は、県の指導を無視して護岸工事を続けています。埋立てられたのは、土砂量全体の約9%(21年末)です。当会議は、設計変更申請書を法律、地質、環境、民意(19年2月の県民投票結果)および人道(遺骨土砂)、市民の安全保障等から検証し、新基地を造らせてはならないと確信しています。みなさん、県と政府の間で何が起きているのか小波津さんと一緒に考えてみませんか!!



みんなで考えよう、
沖縄の未来について

「なぜ設計変更を不承認にしたか！」
玉城デニー沖縄県知事

「沖縄県民の誇りと尊厳の理不尽な侵害！憲法・地方自治法は決して許さない！」
白藤 博行さん(専修大学教授)

- ・立石 雅昭さん(新潟大学名誉教授・沖縄辺野古調査団代表・オンライン)
- ・吉川 秀樹さん(ジュゴン保護キャンペーンセンター、国際担当)
- ・具志堅 隆松さん(ガマフヤー代表)
- ・半田 滋さん(元東京新聞記者・防衛ジャーナリスト・ビデオ出演)
- ・白藤 博行さん(専修大学教授)



シンポジウムMC
小波津 正光さん(お笑い米軍基地)



旧名護市消防庁舎跡地の売却を巡って、渡具知武豊名護市長が議会承認を受けずに市に損害を与えたとして名護市民15人が同市長らに1億3千万円の支払いを求めた住民訴訟の学習会が23日、名護市内で開かれ約60人の市民が参加しました。支援者を代表し稲嶺進元名護市長が挨拶(写真)。平和市民連絡会の北上田毅さんが識名トネルの住民訴訟の経験を報告し、金高望氏など顧問弁護士が講演しました。参加者との質疑応答が積極的に行われました。住民訴訟の第1回頭弁論は6月2日、午後2時から那覇地裁で開かれます。